

“無人の山の中で木が倒れたとき、音はするか・・・”

皆さんに質問です。「無人の山の中で木が倒れたとき、音はすると思いますか」（これは仏教の禅僧、イスラム教のスーフィー教徒、タルムードのラビなどの神秘家の公案の問いです）

答えは“否（音はしない）”です。気が倒れれば、音波は発生します。だが、音を感じるものがいなければ、音はしないのです。音は知覚されることによって音となります。ここでいう音こそがいわゆる“コミュニケーション”なのです。これは昔から知られていることで、“誰も聞かなければ音はない”のです。

今の時代は、コミュニケーションがとても重要とされています。特に、これからは、ICT化や、AI、ロボットはさらに進化していくことが予想されます。すでに何年後かには、コンピューターやロボットが人になって仕事をする職種が半数以上もあるとも言われています。情報処理や情報収集能力、製品を作るなどでは、人はAIやロボットにとっても敵いません。人が、AIやロボットに勝てるのはコミュニケーションがとれるところで、コミュニケーションをとることで、その時々で軌道を修正し、個々の要望にあったものを作り出すことができます。それだけにこれからの時代を生きる皆さんにとって、このコミュニケーションはとても重要なのです。

そこで、コミュニケーションについて少し考えてみます。コミュニケーションを成立させるものは、上の話からすると、話し手ではなく受け（聞き）手なのです。すなわちコミュニケーションの内容を発信する人がコミュニケーターではないのです。それは、聞くものがいなければコミュニケーションは成立しないからです。コミュニケーションの主体は自分ではなく、相手にあります。だからどんなにいいアイデアを思いついても、他の人に伝わらなければ、そのアイデアは存在しなかったこととなります。結局「聞き手がどのように思うか」を意識しないと伝わらないということになります。よく、「自分の意見が通らない」「言いたいことが伝わらない」「まわりが認めてくれない」という人がいますが、そういう人ほど「聞き手がどのように思うか」という視点が抜けていることが多いのです。

皆さんは、いかがですか。自分は、今思うと「聞き手がどのように思うか」という視点を意識せずに話してしまっていることがよくあります。その時は、確かに相手に伝わらないし、意見を取り入れてもらえず、聞いてくれない相手が悪いと思っていました。しかし、これからは「聞き手がどのように思うか」という視点を持って、相手の立場を意識していこうと思います。先にも書きましたが、これからはもっとコミュニケーションの重要性が高まると思います。3年生は、新しい生活場所で、1、2年生は、北中での毎日の学校生活でコミュニケーションの取り方をたくさん学んでください。ポイントは話す前にちょっと相手のことを考えることです。（ラインやメール、DMなどは送る前に読み返すことです。）